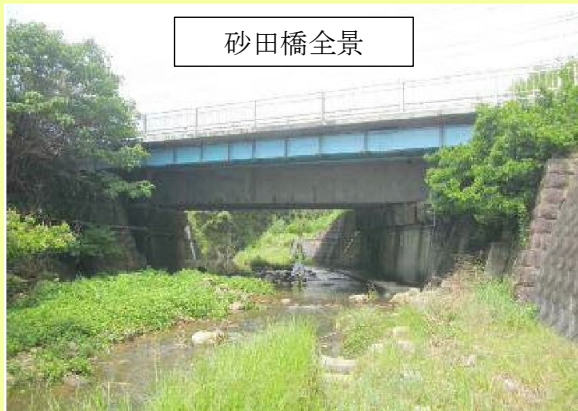


テックドクターによる現地調査 (宮崎県日向市)

令和4年2月25日に国道10号276k424付近(日向市大字平岩砂田地先)に位置する砂田橋が令和2年度橋梁点検にて、ひび割れ・うき・剥離・鉄筋露出等塩害が原因と思われる損傷が全面的に発生していることが確認されたので、現地状況の詳細な把握及び適切な補修工法の検討のため、学識者による現地調査を実施した。

出席者:宮崎大学 李准教授

● テックドクターによる調査



<助言内容>

- ・桁にコケ類が付着しており、通常よりコンクリートの含水量が高い可能性がある為、コンクリート面の含水量及び相対湿度を調査するとよい。
- ・鉄筋は水分浸透による腐食が考えられる。
- ・鉄筋腐食状況確認はマクロセル腐食を含め10カ所程度行う方がよい。
- ・鉄筋腐食調査は塩害との関連を確かめる為、全面で行った方がよい